

会 議 録

会 議 名	第5回 淡路人形浄瑠璃保存伝承検討委員会	
開 催 日 時	令和4年11月22日（火）午後4時00分～午後5時10分	
開 催 場 所	南あわじ市役所第2別館 第5会議室	
出席者	委 員	森 紘一、寺内 直子（リモート）、徳永 高志、島田 貞洋、 山崎 大樹、赤穂 秀樹、木下 紘二、諏訪 芳美
	事 務 局	仲山 和史（教育委員会次長） 谷口 信介（公認会計士） 福田 龍八（淡路人形座統括責任者） 阿萬野 真司（社会教育課長） 眞野 匡史（社会教育課係長）
	オブザーバー	守本 憲弘（南あわじ市長） 正井 良徳、福原 敬二（淡路人形協会）
会 議 次 第	<p>1. 開 会</p> <p>2. 回答書</p> <p>3. 議 事 （1）淡路人形座の更なる付加価値向上に向けて</p> <p>4. 閉 会</p>	
議 事 要 旨	別紙のとおり	

## 淡路人形浄瑠璃保存伝承検討委員会 議事要旨

### ○ 回答書

南あわじ市 守本市長から淡路人形浄瑠璃保存伝承検討委員会 森委員長へ回答書が提出され、各委員には市の回答書及び残された課題に対する回答について確認いただく。

### ○ 議 事

(1) 淡路人形座の更なる付加価値向上に向けて

#### ○ 委員からの意見（要旨）

※ 更に調査票を各委員に配布し意見を集約していく。

- ・ 体制変革に際し、財政逼迫の理由だけではどこか要素が欠けている感があり、やはり移管することで待遇改善が期待される等の魅力を検討委員会で議論する必要がある。
- ・ 海外の人に観に来てもらうためにはどうすれば良いか、指定管理を委託する団体に丸投げするのではなく、世界の人たちに観てもらえるにはどうしたら良いか等の議論が必要であり、集客に力を入れていくうえで伝統といろんな企画の両立が大切である。
- ・ 誘客を意識して組織改変を行うことで座員のモチベーションが上がる。自分たちの出番となる場所を自分たちで作っていくといった漲りが新しいもの作りに繋がる。

# 回答書

令和4年11月

南あわじ市

## 回 答

淡路人形座の第3セクター企業への経営移管の実現に向け、中間報告を受けて、移管の可能性を示唆していた南あわじ市出資の第三セクターである「株式会社 うずのくに南あわじ」と、移管を可能とする条件、とりわけ、当該企業の収益基盤の確保及び移管後の淡路人形座運営に対する行政支援の在り方について協議を行いました。

その結果、次のような市としての考えが実行できる場合は、移管に向けた具体的協議に入っていけるとの感触を得ています。

### 1. 収益基盤の確保

現在、当該企業は、道の駅うずしお(鳴門みさき荘)と大鳴門橋記念館の指定管理を受託しており、コロナ禍の中にあっても、業績は堅調に推移しています。

一方、鳴門みさき荘については、老朽化により市が改築を進めているところであり、それが完成(令和7年1月予定)するまでに新たな指定管理者を選定することとなります。その指定管理を一定期間、当該企業を受託者として更新することができれば、移管後の淡路人形座を支える収益基盤の確保が可能となります。そのために市としては、更新(議会案件)できるよう最大限の努力を行ってまいります。

### 2. 移管後の淡路人形座運営に対する行政支援の在り方

本来、淡路人形座を第三セクターに移管する目的は、当該企業の経営資源を淡路人形座の活性化・収益改善に役立てることにより、現在の行政支援の軽減を図ることにあります。しかしながら、かかる取り組みには一定の時間が必要であり、運営が軌道に乗るまでの期間、当該企業に淡路人形座の運営が過度な負担とならないよう財政的な支援を行ってまいります。

具体的には、淡路人形座と南あわじ市淡路人形浄瑠璃館の運営を当該企業に委ね、現在、市から淡路人形協会に交付している人形座運営のための補助金(淡路人形座運営補助金・淡路人形浄瑠璃保存伝承事業補助金(ふるさと南あわじ応援寄附金の一定割合))の相当額分を指定管理料として交付できればと考えております。

### 3. 移管に係る手続き・移管後の魅力向上の支援

移管にあたっては、雇用承継、移管後の人事規程等の見直し、契約承継、会計等の整理、中期計画の検討などの業務を行っていく必要があります。当該企業に過度な負担をかけることが無いよう全面的に協力していく考えです。また、経営移管後も支援を行っていきながら、地域や観光客にとっての淡路人形座の魅力を高めるとともに、伝統文化の維持保存を図っていきたいと考えております。

なお、淡路人形座移管後においても、淡路人形浄瑠璃全体の保存伝承、後継者育成の重要性、公益性を担う主体が必要となるため、淡路人形協会の組織は維持し、「後継者育成」、「調査・研究」、「普及・啓発」の各事業を実施していただく考えです。その際には、評議員会他関係者と調整の上、継続して淡路人形協会負担金を交付していく考えです。

以上をもって、市の回答といたします。

令和4年11月22日

南あわじ市長 守本 憲弘